



ボラ旅北海道



活動紹介

地域の担い手不足が進む北海道において関係人口創出を目的に、都市部の若者が道内各地を訪れて地域の方と一緒に課題に取り組むプログラムや地域に住む若者の活動を活発化させるため、青年団体の会議進行補助や先進事例の紹介などを実施。道内の地域づくりに関わる若手人材ネットワークと顔の見える繋がりを生むことで、地域のファンが増えたり、いざという時に助け合える関係構築を目指している。



2019年総括

関係人口というキーワードが対外的にも注目される1年となり「ふるさと応援隊～みつける、第二の故郷178～」 「おためし地域おこし協力隊」制度がスタート。より多くの地域と関係人口創出に向けたプログラムを実施することができた。北海道内で地域活動に取り組みながら、地域間の繋がりを生み出す「179リレーションズ」として次のステージへ進みたい。（たに）

目的・背景

北海道の抱える地域問題のひとつに人口減少による担い手不足が挙げられる。一方、都市部にも地域にも地域づくりには関心があるが関わり方が分からないという若者が多くいる。本プロジェクトでは、その町に住んではいないが、地域づくりに関わっている観光以上定住未満の『関係人口』を創出することを目的に、若者が地域づくりに関わるきっかけを作る。また、地域との関わりを継続できるプログラムを実施。そのために、都市部の若者の巻き込み、地域の青年団体のフォローアップ、北海道内の地域づくりに関わる若手人材のネットワーク構築を行う。

実施内容

活動・回数・参加人数

- ・活動日数：のべ77日
- ・活動人数：のべ269名
- ・活動市町村：のべ15市町村
(標津町、上士幌町、東川町、苦小牧市、伊達市、羅臼町、湧別町、札幌市、函館市、留萌市、喜茂別町、大樹町、安平町、士別市、雄武町)

- ・活動例：大雪山国立公園旭岳自然保護プロジェクト（NPO法人大雪山自然学校）、月に一度は森づくり（いぶり自然学校）、ウインターバルーンミーティング（フリーフライト）、湧別町おためし協力隊（湧別町）

成果

今年度は活動を実施した地域が大きく増えた年だった。（昨年度は9市町村）特に、喜茂別町や湧別町では「おためし地域おこし協力隊」制度を利用して、地元の方と一緒に地域の課題を探りながら、課題解決に向けたプログラムを実施することができた。また、今まで連携・フォローアップしてきた地域の青年団体では、実際に取り組みが形になったり都市部の若者との連携プログラムを実施するなど地域活動の取り組みとして成果を見ることが出来た。さらに、大学との連携・広報を強化するなどプロジェクトへの関心者を増やすことが出来た。

声

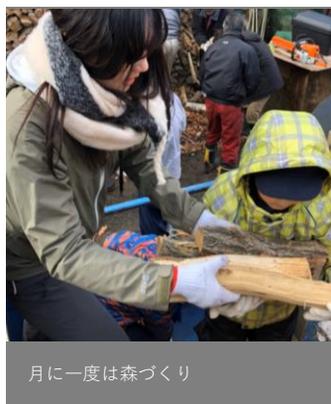
ボランティア参加者（20代女性）
私が活動に感じた魅力は普段あまり接することがないような方々や体験とボランティアを通して出会えたことです。そこで今まで見たことがない光景や考えたことがない問題を発見でき、とても良い経験ができました。
苫東・和みの森運営協議会 八木 一馬さん（キング）
今年は、いぶり自然学校にとって大きなチャレンジの年でした。そのような中で、複数回活動に参加してくれる人がいると現場の雰囲気気がわかってきて、スタッフも参加者も安心して活動を行うことができました。



湧別町おためし地域おこし協力隊プログラム



大雪山国立公園旭岳自然保護プロジェクト



月に一度は森づくり



標津まちづくりプロジェクト